

「子どもの誕生日は、母親の出産記念日でもある」へのコメント

「子どもの誕生日は、母親の出産記念日でもある」を目にしてくれたメル友から、早速コメントをいただきました。参考までにご覧下さい。

2006. 8. 14. 阿部幸泰

①子供の誕生日は母の出産記念日、まさにその通りですね。

今までに生きてきた中で出産ほどの感動はなかったように思われます。昔のことですが。

②「子供の誕生日は、母親の出産記念日でもある」

素敵な試みですね

誉めるという事をとっても、とにかく自分の願いと重なったときに誉めてしまいがちになります

これでは子供に心が伝わるどころか、親の顔色ばかりみる子になってしまいますよね

今までを振り返ると、反省する事が多いです

>良かれと思うことは行動する そうすると相手に喜ばれる

>喜ばれると、こちらも嬉しくなり、自信にもなる

その事は、私が日々実感している事でもあり こうした実感を通じて、子供達との係わり合いを 広げていけたらと思います

③ HP 拝見しました。

保育士さん ちゃんと捉えていますね。

「愛」の原型は 母と子でしょうか。 子は母を通して愛される体験を積みかさねながら成長していくのでしょうか。

回りの家族はサポート役ですね。乳児期は特に。

成長と共に父親の出番ですね。

子は3才までに一生の恩返しをする、とか聞きましたけど、幼児期の可愛さは無条件で

すよね。

親になり私たちも子と一緒に成長させられてきたなあと思いますよ。

私の場合はちと難ありの親でしょうか(^O^)。反省です。

④HP拝見しました。

元学生の保育士の「子どもの誕生日は、母親の出産記念日でもある」は、なるほどと感心しました。

日常のちょっとしたことに、保護者の距離を縮める方法はあるんだ、ということに改めて気づくことができました。

早速、職員室の掲示板に張らせていただきました。

最後に先生が簡潔に書いておられた、誉めることの意味も参考にします。

⑤素敵な保育士さんですね

こんな保育士さんに子供を担当していただくと親も嬉しいですね

こんな事を言っちはちょっと・・・と思われるかもしれませんが 役場へクレームを出しても、所長に何を言おうが一向に聞き入れてもらえない保育士さんもいます。

それで年功で上がっていきますから、今では、所長・・・公務員は、本当に強いな〜と、お役所だからと諦めた経験があります。

よく、お母さん方は、言います。子供を人質に取られているからと・・・

でも、素晴らしい保育士さんもいっぱいいらっしゃいます。

それで、世の中バランスがとれているのかな??

⑥私は 自分の 誕生日は 母を 思い出す日だと ずっと思っています。

又 子供には 親がいて 生まれたのだと 思ってもらいたいですね

だって 生まれてきた日のことは 子供は知らないのですもの

親が 暑い日だったよ とか 寒い日だったよ とか 朝焼けが綺麗だったとか ・ ・ ・
・ ・ はなしてやるべきだと思います。

私は 5月生まれ 母は 私が生まれて すぐ 田植えの時期だったので しんどかった とよく 話してくれました

大変だったのだ・・・と今もずっと思い 特に誕生日には 母を 思います。

こういう 思いを 話しても なかなか 同調してくれるひとが 少なくて・・・

HPを見て嬉しくなりました！

この世に送り出してくれた親 大切な人です。

子供達にも そう思ってもらえる 親になりたいですね！

⑦ HPを見たとき たん なにか 込み上げるものがありました。

私は 遅く生まれ 母の 若い頃知りません。母への想いは 深いです。

こうして まあ普通に 幸せに暮らせるのも 母の色々な教えがあったからだと思っています。

今 娘にも 誕生日には いつも チュウリップがきれいに 咲いてたよ 父さんが 切って 病室に いけてくれた と いつも 話します。

私たち いなくなった時 思い出してくれるでしょうかねえ…

息子には とても 暑い時だった とばかり いったので あまり 良く 思い出してくれないかも(^-^)

こんな 話しまで 阿部さんと出来て 嬉しく思います

⑧ 保育士になった方の文章読みました。

少しのアイデアが、多くの人たちに喜んでもらえることや、つつい子ども中心に保育を見がちですが、両親に目を配っているところ、とてもいいアイデアだなあと思って読んでいました。

⑧ HP 拝見させていただきました。

あの一文中、私の中に小さいけど、すごく眩しい光が入ってきました。確実にこの光は私の未来に希望を与えてくれるものだと思います。とても胸に響きました。

いつか私も、阿部先生にこの方のような話を笑顔でしたいです。そのための道は自分でしか作れない、そう考えたら「頑張ろう！」って思いました。

私頑張ります！先生、ありがとうございました。

すべての実習が終わって、落ち着いたら、是非お茶してくださいo(^-^o

HPの記事を見ての元学生（現保育士）からのメール。

あのカード、中には泣いて受け取るお母さんもいらっしゃいました。

また、「こんなカードを保育園でもらったことがない」と言ってくださる方もいらっしゃいます。

そのカードをきっかけに、子どもの出産の時のことを思い出し話してくださる方もいらっしゃいます。

このカードで、お母さんに子どもが生まれた時の感動を思い出してもらいたい、お母さんの頑張りを認めたい、また、お母さんと話すきっかけにしたいとも思っています。

プレゼントのカードを渡す時に、お母さんたちに言います。

「お母さんが頑張ったから、産まれてきたんですよ。」と・・・・・・・・。

そうやって、お母さん自身を認めることって大切かな？って思います。

いいと思うことは、やってみる！　ほんとですね。

前から、自分の誕生日には母を思い出すという方もいらっしゃって、すごいなあ～って思いました。

私は〇〇に勤めてからですから。そして、今ではさらに、両親に感謝です！